

国際交流

世界に広がる 学術ネットワークと海外拠点

秋田大学では、海外の教育・研究機関との人的交流、研究交流を推進するため、世界各国の大学等と大学間協定を締結しています。2024年5月現在、大学間協定は36カ国・地域77大学・機関、部局間協定は23カ国・地域41学部等となりました（詳細は、P45「国際交流協定校一覧」参照）。これらの協定校とは、協定に基づいて、学生交流、教職員・研究者交流、共同研究などの活動を行うなど、積極的に交流を進めています。今後も協定校との積極的な国際交流の拡大と協定校の新規開拓を推進していきます。

さらに、本学のグローバル教育・研究の海外拠点として、2024年5月現在、8カ国・10カ所に海外拠点を設置し、海外協定校との共同研究、研究者交流、教育活動の基盤として活用しています（詳細は、「秋田大学海外拠点一覧」を参照）。今後は、海外拠点数のさらなる増加とともに、海外拠点を基盤とした海外協定校との教育・研究交流の活発化に向けて取り組んでまいります。

〈秋田大学海外拠点一覧〉

2024年5月1日現在

国	拠点名	設置日
モンゴル	秋田大学モンゴル事務所	2012年10月8日
タイ	秋田大学・チュラロンコン大学共同研究室	2013年4月25日
	秋田大学バンコク事務所	2014年10月1日
インドネシア	国際資源学部・トリサクティ大学共同研究室・秋田大学ジャカルタ分校	2015年4月28日 2023年9月18日増設
	秋田大学・パジャジャラン大学共同研究室	2019年4月1日
ボツワナ	秋田大学ボツワナ事務所	2017年6月28日
アラブ首長国連邦	秋田大学・UAE大学共同研究室	2019年4月1日
ウズベキスタン	秋田大学・ウズベキスタン日本青年技術革新センター地球資源研究サテライトラボ	2023年4月3日
タジキスタン	秋田大学国際資源学研究所タジキスタン事務所	2023年11月1日
ドイツ	秋田大学海外拠点(フライベルク工科大学)	2023年9月13日

国際戦略及び 第4期中期目標・中期計画

2021年5月、本学の国際戦略を改訂しました。改訂された国際戦略では、「国際性豊かな人材の育成」、「海外大学との連携促進」、「国際共同研究の推進」、「大学の国際化に対応した教職員の資質能力の育成」の4つの戦略及び具体的な達成目標を策定しました。

これを受けて、各学部・研究科において、各年度の達成目標や具体的な行動指針を定めたアクションプランを作成し、国際戦略の実現に向けた取組を進めています。

また、2022年4月から開始された第4期中期目標において、「学生の海外派遣の拡大や、優秀な留学生の獲得と卒業・修了後のネットワーク化、海外の大学と連携した国際的な教育プログラムの提供等により、異なる価値観に触れ、国際感覚を持った人材を養成する。」ことを目標に掲げました。

これを受けて、第4期中期計画において、単位互換、ダブル・ディグリー・プログラム、留学生の受入拡大、学生の語学力強化など各項目における具体的な評価指標を設定しました。

〈第4期中期計画における主な評価指標〉

- ・単位互換の実施：新規7校
- ・ダブル・ディグリー・プログラムの実施：新規2校
- ・大学間協定の締結：2021年度比で30%増
- ・海外拠点の設置・活用：新規4拠点
- ・留学生の受入れ：年間250名
- ・学生の語学力強化：e-ラーニング教材も活用した英語教育プログラムの改革
- ・海外留学を経験した学生の割合：20%
- ・海外資源フィールドワークの参加率：100%

2027年度まで、国際戦略及び中期目標・中期計画に基づいて、本学の国際化を積極的に推進してまいります。

資源開発の研究拠点から 外国人留学生への広報まで

グローバルリソース研究機構（RIGRe）は、国際的視野を持つ資源人材の養成と教育研究の拠点となることを目指し、本学に設立されました。RIGReでは、資源保有国に対する出張講義・技術指導等の教育支援のほか、資源保有国協定校の大学院生を対象に行う短期研修「資源特別プログラム」の開催、資源学に関する国際シンポジウムの開催、海外協定校や関係機関との共同研究の推進、共同研究者の本学への短期招へい等、様々な活動を行っています。

特に、資源特別プログラムについては、プログラムを終えて帰国した学生が正規留学生や交換留学生として再び本学に戻ってくるケースが増えてきており、本学の海外広報としての役割も期待されています。

秋田大学は世界に開かれた大学として国際交流の拡大を図っています。これを実現するため、本学の国際化やグローバルに活躍する人材の育成を推進するための組織として、高等教育グローバルセンター（GHE）を設置しています。

GHEでは、学生の留学支援、留学に関する情報提供、交流イベントの開催、大学間協定の締結、学内の国際化の推進などの活動を行っています。



資源特別(ショートステイ)プログラム修了式

外国人留学生に対する生活・教育支援の充実

留学生に対する生活・教育支援体制も充実しています。生活支援として、留学生に対して、留学生会館、国際交流会館という2つの宿舎を用意しています。また、経済的支援のため、フードバンク実施団体と連携した食料支援事業も行っています。教育支援として、秋田の地域文化に対する理解を深めるため、農家民泊、スキーツアーなど、地域に根ざしたイベントを企画・実施しているほか、留学生と日本人学生との交流事業や、在学生在が留学生の生活や学習を支援する「チューター制度」を実施しています。キャンパス内には「多文化交流ラウンジ」が設置され、日本人学生と留学生との交流や、全学生、教職員が多言語を自律的に学べる場として活用されています。

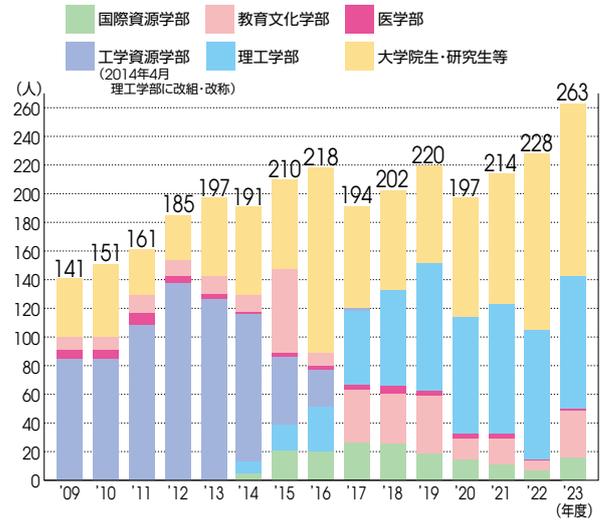
国際的視野を持った人材の育成

若手教育系職員を海外の大学等に派遣し、国際的な視野を持った人材の育成を目指すため、「秋田大学研究者海外派遣事業」を実施しています。本事業を開始した2008年度以降、これまでに計33名の研究者がこの事業に参加し、海外の大学で研究を行いました。

また、学生の留学制度としては、海外の協定校へ交換留学する「秋田大学派遣交換留学」や、各学部等で実施する「海外短期研修」があります。これらの留学制度で留学する際には、「秋田大学みらい創造基金」を活用した渡航費補助や奨学金支給を実施しており、専門分野に関する高度な知識・優れたコミュニケーション能力・異文化理解力の向上を目的に留学する学生を支援しています。このほか、独立行政法人日本学生支援機構「海外留学支援制度」により奨学金が支給される留学プログラムなどがあります。

海外渡航が今後も活性化していくことが見込まれることから、国際的な視野を持った人材の育成に向け制度の充実を図っていきます。

〈留学生数の推移〉



イタリアに留学した本学学生



台湾に留学した本学学生(前列左から3番目)

秋田大学の国際交流に関する取組の詳細については、以下のHPを参照してください。



日本語版



英語版